

## 【神奈川区】令和6年第2回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和6年6月11日 10時30分 ～ 11時40分
場 所	神奈川区役所 本館5階大会議室
出席者	<p>【座長】竹内 康洋 議員</p> <p>【議員：5名】藤代 哲夫 議員、中山 大輔 議員、田中 紳一 議員、小松 範昭 議員、宇佐美 さやか 議員</p> <p>【神奈川区：24名】鈴木 茂久 区長、小林 悦夫 副区長、田畑 和夫 担当理事、茨 志麻 福祉保健センター担当部長、山下 隆幸 神奈川土木事務所長、松崎 賢二 災害対策担当部長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和6年度 神奈川区運営方針について</p> <p>2 令和6年度 神奈川区自主企画事業について</p>
発言の 要 旨	<p>【議題1～2】</p> <p>宇佐美議員 11頁「3 介護予防・高齢者支援事業」の「(2) 認知症高齢者支援事業 ア 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及展開」について、みまもり協力店は、現在何店舗あるか。</p> <p>浅野高齢・障害支援課長 令和6年3月末時点で、238店舗です。みまもり協力店の認定にあたっては、店舗や事業所の方どなたかお一人に「認知症サポーター養成講座」を受講していただく必要があります。</p> <p>宇佐美議員 まだ店舗数が少ないと思う。店舗の方にとっては、受講して資格をとらないといけないのはハードルが高いかもしれない。講座の回数を増やすとか、講座自体の周知をする必要があるが、どのようにしていくか。</p> <p>浅野高齢・障害支援課長 今後は、区職員を対象とした講座の企画や、区内小中学校の児童・生徒向けの認知症サポーター養成講座を開催していくなど、様々な働きかけを考えていきたいと思います。</p>

宇佐美議員 12 頁「神奈川区認知症高齢者等 SOS ネットワーク」について、登録者数は何人か。また、制度の周知はどのようにしているか。

浅野高齢・障害支援課長 令和 5 年度末で、登録者数は 121 名です。区役所、地域ケアプラザ、警察、郵便局などの協力機関と連携して行っています。登録については、身近な地域ケアプラザなどで相談してもらえればと思います。また、啓発についてもしっかりやっていきたいと思っています。

宇佐美議員 事前に登録することで安心できるということを私も周知していきたい。

32 頁「23 地域防災力向上事業」の「地域防災拠点の機能強化」について、地域防災拠点の訓練の実施状況はどうか。

宍戸総務課長 令和 5 年度から、25 拠点全ての拠点において訓練を実施しています。訓練内容としては、拠点開設、防災資機材の取り扱い、災害用ハマトイレの設置などです。

宇佐美議員 地域防災拠点の訓練は大事だと思う。また、地域防災拠点に携わってくれる協力者を増やすことも大切だと考えるが、どのように取り組んでいくか。

宍戸総務課長 地域防災拠点の委員長を対象とした総会で、啓発事業の紹介をしています。また、今年度は、「次世代につなぐ防災」をテーマに、子育て世代や中高生を対象にした事業についても実施していきます。

宇佐美議員 「親子向け防災ワークショップ」を実施するということが、実施内容、実施場所、募集方法を知りたい。

宍戸総務課長 実施内容については、これから詳細を決めていきますが、防災グッズの工作を考えています。実施場所は区役所で、区内の小学生を対象に募集し、2 日間で各回 15 組にご参加いただく予定です。

宇佐美議員 区役所で実施ということで、それほど多くはできないとは思いますが、もう少し回数を増やしてほしい。

33 頁「(4) 災害時要援護者支援事業」について、災害時要援護者名簿の提供団体数は現在どのくらいか。

栗山福祉保健課長 現在、109 団体に名簿をお渡ししており、独自に要援護者を把握している団体が 45 団体あります。取組を実施している団体数は 154 団体で、実施率は 89%です。

宇佐美議員 個別避難計画の作成も重要であるが、進捗について伺いたい。

栗山福祉保健課長 個別避難計画の作成については、令和 3 年 5 月に災害対策基本法が改正され、市町村の努力義務として規定されました。横浜市においては、鶴見区、南区、保土ヶ谷区、港北区、戸塚区の 5 区において、令和 5 年度に個別避難計画の作成を進めています。令和 6 年度は、18 区で実施する予定ですので、神奈川区も対象になっています。

宇佐美議員 計画作成の対象となる人数は、把握しているか。

浅野高齢・障害支援課長 現時点では把握していませんが、対象者の抽出について、8 月までに、健康福祉局で行うと聞いています。

宇佐美議員 着実に進めていただきたい。地域防災拠点の在り方が非常に大事だと思う。安心して避難ができる場所にしていくことが必要。防災拠点の在り方、訓練の仕方など様々工夫をしていただきたい。

小松議員 32 頁「23 地域防災力向上事業」のうち「(6) 災害時のペット対策」の予算額はいくらか。また、在宅避難を基本としていると思うが、ペットを同行して避難することについて、「現実問題難しいのではないか」「自宅で待機した方がいい」という考えの方もいらっしゃる中で、何か対策があるか。災害時のペット対策の概要を知りたい。

梅田生活衛生課長 「(6) 災害時のペット対策」について、予算額は、27万8千円です。ペットの飼い主の方向け講習会の実施に加え、今年度については、地域防災拠点運営委員会総会において、各拠点で一時飼育場所を決めていただく依頼をしています。

「飼い主向け災害時ペット対策リーフレット」「神奈川区動物病院マップ」を活用し、様々な機会をとらえて啓発をしていきます。

小松議員 災害時に獣医師がペットをお預かりする仕組みがあればという意見もあったので、今後の対策として考えていただきたい

藤代議員 災害時のペット対策について、風水害等が予測される場合に、避難の方法など告知の仕方を工夫していただくと良い。

GREEN×EXPO 2027 と区制 100 周年が同年だが、今後 3 年間の取組が非常に大切になってくる。脱炭素・GREEN×EXPO 推進局とどのように連携をしているか。

佐藤区政推進課長 GREEN×EXPO 2027 に向けて、局と連携し、地域説明会の開催を検討しています。また、6月22日が開催1000日前ですので、各区の取組をPRしながら18区全体で機運を盛り上げていきます。そのほか、区のイベントなどを通じ、区内のPRと機運醸成に努めていきます。

藤代議員 22頁「13 花と緑あふれるまちづくり事業」について、以前からやっていた事業だと思うが、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成、区制 100 周年ということで、脱炭素も絡め、例えば愛護会の方の花壇整備のコンテストなど、多世代が参加できる神奈川区独自のイベントなどを工夫してやっていただきたい。何か考えはあるか。

鈴木区長 脱炭素、環境問題については、どのように自分事として捉えていただくのか、ということが課題だと思います。

区民意識調査の結果においても、「地域の中に子どもが安心して遊べる場所があること」「子どもが安心して遊べる場所を増やすこと」が重要な項目として挙がっており、公園を集える場所にしていきたいと考えています。愛護会の活動に参加させてもらった際に、ご家族やお子さんに声をかけられると非常

に励みになるというお話もいただきましたので、子育て世代と愛護会の方々を繋げるような取組を増やしていきたいと思います。

GREEN×EXPO 2027、区制 100 周年について、参加型の機運醸成についても、取り組んでいきたいと思います。

藤代議員 区制 100 周年を見据えた取組をお願いしたい。

28 頁「20 まちづくり推進事業」について、昨年度、「丘陵部における行動実態調査」の結果をまとめたと思うが、今後の展開について教えてほしい。

佐藤課長 昨年度、三枚町、菅田町、羽沢町、羽沢南一～四丁目を対象とした行動実態調査を行っています。移動に関して、坂が多くて大変だとか、買い物に時間を要するという結果が出ていますので、区として、移動支援等を検討する基礎データとして活用したいと考えています。

藤代議員 坂が多く、年代にかかわらず一定数の方が、移動に困難を感じていることなど、課題を整理していただいて、区役所が先頭に立ち、民間を巻き込んでモデルでやってみるべきだと思う。羽沢横浜国大駅ができたが、駅までの移動手段がないという声もある。今後区としてこういった取組を行っていくのか。

佐藤課長 駅の開業を契機として、インフラ整備の機会をとらえて検討していくことが重要だと考えています。地権者である寺田倉庫、横浜国大、相鉄アーバン、横浜市の 4 者にてまちづくりに関する覚書を結び、検討を行っています。都市整備局においても、地域交通の方向性を示していますので、一体となって取り組んでいきたいと考えています。

藤代議員 神奈川区からぜひ提案してもらいたい。色々なやり方があるかと思うので、実態を把握していただき、都市整備局とも連携して取り組んでほしい。地域交通について、どのようなことが課題と考えているか。

佐藤課長 地域交通については、地域の方の発意に基づいて計画や運用の方向性を示していく必要があり、地域の方が主体的に動いていくことが必要ですが、一方で負担となることがあります。あわせて、運行する交通会社の採

	<p>算性も課題となります。</p> <p>藤代議員 地域発意だが、横浜市としても取組を進めるモデル事業として、工夫しながら取り組んでもらいたい。</p> <p>宇佐美議員 在宅避難の件について、在宅避難をされる場合も、地域防災拠点で支援物資を受け取ったり、情報を得ることができるということを、必ず周知してもらいたい。誤解してしまうと我慢してしまう方が増えてしまうかと思う。</p> <p>宍戸総務課長 広報の区版などを活用し、誤解のないように周知していきたいと思います。</p> <p>竹内議員 災害時には、日常の中でサポートが必要な方に対し、よりサポートが必要になるということの大変さがある。横浜市でも地震防災戦略等を見直しているが、議論を重ね、地域性を入れて作りこんでいかないといけない。課題が多くあると思うが、意見交換し、地域と連携をとって取り組んでもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	